

「避難訓練」と「BCP訓練」

～命を守った“その先”の会社と仕事を維持するために～

会社で行う2つの訓練の違いを正しく理解していますか？ 社員・顧客の避難訓練や避難誘導はBCP(業務継続)訓練の構成要素に含まれるとされており、連続した一連の危機対応プロセスとして訓練を実施することが効果的です。

災害が起きたとき、私たち全員が迷わず行動できるよう、それぞれの役割や目的をチェックしておきましょう！

① 避難訓練：まずは「命」を守る！

【発災直後～数時間】

全員が安全に逃げ切るための訓練！

目的：怪我をしない、命を落とさない

行動：机の下に隠れる、非常階段で外へ逃げる、
点呼に応じる など

身近な例：「火事だ！」の声で避難場所に逃げ、
全員が無事か確認する など



② BCP(業務継続)訓練：会社と「仕事」を守る！

【避難完了後～数日】

仕事をどう再開するかを試す訓練！

目的：業務を継続する、お客さまに迷惑をかけない、私たちの雇用を守る

行動：安否確認に回答、在宅勤務への切替え、
手書きや別システムでの対応 など

身近な例：“PCが壊れた”“出社できない”時に、
どう連携して仕事を続けるか試す など

